

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **心臓血管外科医** その仕事や夢を選んだ理由 **5年生の時に臨床体験をしたことがあり、その体験をきっかけに多くの命を救いたいと思った。**

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
医師免許、体力、集中力、技術力、忍耐力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、団結力、判断力、努力、冷静さ、学費、習い事代、医師国家試験合格、強い意志

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳 小学校	ゴツゴツ勉強する。習い事の練習で体力をつける。友達をたくさん作る。本をたくさん読む。対話し上手に人と話す。医療に関するイベントに参加する。
13歳 中学校	中学校入学。毎朝、学校の図書室で勉強する。ゴツゴツ勉強する。みんなと仲良くなってたくさん話す。バス部に入って体力をつける。復習をしっかりとる。
16歳 高校	高校入学。理系の勉強を頑張る。ゴツゴツ勉強する。復習をしっかりとる。大学入試の勉強をする。毎朝、学校の図書室で勉強する。
18歳 大学	大学医学部に入学！
19歳 大学	心臓の血管について学ぶ。勉強を頑張る。
25歳	医師国家試験合格！
26-27歳	臨床研修を受ける。
28歳 仕事	心臓血管外科医になる！
33歳	新しい術式を開発する。⇒命を救う

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
 ・2階建ての大きな家を建てる。 ・海外に旅行に行く。
 ・犬を飼う。 ・親孝行をする。
 ・投資で成功する。

人の命を救うために

智辯学園和歌山小学校 六年 上田 将基

多くの将来の夢は心臓血管外科医になることだ。理由は三つある。

一つ目は、僕が小さい頃からたくさんのお医者さんにお世話になったので、僕もそのようにたくさんの人を救おうと思ったからだ。僕が、現在通っている病院は、眼科と小児科と矯正歯科の三つだ。そして、今までにお世話になった病院は十をこえている。たくさんのお医者さんにお世話になったからこそ、僕は医師になりたいと思った。

二つ目は、大きな病院で医師の体験をしたことがあったので、その経験をどこかで活かしたいと思ったからである。

その時、僕が体験して最も心に残っていることは、カテーテルを使用して、狭い血管を広げるといふ作業だ。当然、体験なので本当に手術をしたのではないが、本物の器具を使い、人間の血管にさせた管にカテーテルを入れ、バルーンをふく

らませるといふ作業は、とてもリアルで緊張した。きっと、手術をしているお医者さんは僕の何百倍も緊張していると思う。なぜなら、ミスすれば、人が死んでしまうかもしれないような仕事に立ち向かっているからだ。

おそらく僕が技術を持つていたとしても、今の僕なら絶対に手術をすることができないと思う。なぜなら、人を死なせてしまうかもしれないという立場で手術をすることなんか精神がたえられないからだ。

三つ目は、僕のおじさんのように、人の命を助ける仕事に魅力がわいたからだ。僕のおじさんは、医師で、僕が病院で体験した血管を広げる仕事をしている。僕はその姿に憧れ、人の命を助ける医師という仕事に就きたいと思った。

僕は医師になりたいと思っているが、思っているだけではそれを叶えることが

できない。なので僕は、医師になるために毎日することを二つ考えた。

一つ目は、毎日読書することだ。理由は、読書をたくさんすることで、学校で習わないような知識を身に付け、自分の生活に活かしていこうと思ったからだ。二つ目は、復習をしっかりとすることだ。理由は、復習をすることですでに習ったことを確実にし、より発展的な問題を解けるようにするためだ。

僕はこれから、この二つのことに加え様々なことを頑張る、心臓血管外科医になって、たくさんの方の命を救おうと思う。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。